

公益財団法人 松園尚己記念財団

My graduation 2022

## Y.T

鉄道会社勤務/路面電車運転士

九州観光専門学校 鉄道サービス学科卒

2020年の春、世界中でコロナウイルスが流行し日本では第一回目の緊急事態宣言が発出された頃、専門学校に入学しました。

新たな環境で自分の夢に向かって勉強できる楽しみと期待を胸に進学しました。

しかし、待ち受けていたのは想像を絶するものでした。入学式は中止。学校も1ヶ月半遅れでスタート。リモート授業。バイトもできない。家から出られない。学校を楽しみにしていた自分にとってはとても辛いものでした。

何もできない為、ストレスが溜まる一方の毎日でしたが、その度に苦しい思いをしているのは周りの人も同じだと自分に言い聞かせました。不安とストレスの毎日でしたが、コロナになったことで経験できたこともあります。それはリモート授業です。全世界がコロナ渦の中、急激にリモートワーク(授業)が普及しました。メリットとしては画面共有機能で板書が見やすい。登校せずに授業が受けられる為の交通費節約。時間の有効活用などがありました。しかし、友達ができないというデメリットもありました。リモートを繋いでいる時間は授業のみで、休み時間や放課後に友達とワイワイするのも学校に行く一つの楽しみだったのだと改めて気付かされました。

そうしているうちに就活の時期を迎えた私は、ある大手企業を第一志望として毎日頑張っていました。情報解禁日の1週間前に、コロナの影響で新卒採用を見送ることが発表されました。本当に悔しくて、どこにその怒りをぶつけていいかわからず、ただただ涙がこぼれ、以降は他企業の研究をする気にもならず毎日ただ無策な時間を費やしていましたが、先生の厳しくも励ましてくれる言葉により、心を新たに就活に向き合い、そして最終的には郷里で働きたいという思いから地元の鉄道会社を受けることにしました。結果は採用。夢に一步近づき喜んだことを今でも鮮明に覚えています。私は早期就業という形で一足先に会社に勤めることになり、すぐに電車の運転免許取得への勉強を課せられましたが、2ヶ月後に国家試験の筆記、その4ヶ月後に実技も合格し、3ヶ月の教習期間を経て、2月20日に運転士として独り立ちを果たすことができました。

入社してから早一年、資格取得への課程は過酷なものでしたが、これからも長崎の顔として日々安全運行に努めていきたいと思っています。

まだ社会人としてはスタートダッシュを切ったばかりなので、これからもっとたくさんのごことを経験し立派な大人になれるように頑張っていきます。